

メディカルセミナーのご案内

よくわかる、脳卒中～予防と気になる症状、そして治療最前線～

「脳卒中」は大別すると、脳の血管がつまる「脳梗塞」と、脳の血管が破れて出血する「脳出血」や「くも膜下出血」があり、さらに、脳梗塞は、血栓の発生原因により、「脳血栓」と「脳塞栓」に分かれます。国内で脳卒中を患っておられる方は大よそ150万人といわれ、そのうち最も多いのが脳梗塞で、全体の7割～8割を占めます。我が国において、脳卒中で亡くなる方は、がん、心臓病に次いで多いとされますが、治療技術の進歩により近年は減少傾向にあります。しかし、寝たきりになる主要原因の多くは脳卒中であり、一命をとりとめても再発しやすく、さまざまな後遺症やリハビリなど本人のみならず、周囲の介護者の生活の質を著しく低下させる予後不良の疾患です。脳卒中の最大のリスク要因は高血圧で、今後、高齢者の急増、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の増加や、最近では、肥満及びメタボリックシンドロームに伴うアテローム血栓性梗塞及び心原性脳塞栓症の増加についても危険視されており、団塊世代が後期高齢者となる2020年には脳卒中患者数は300万人以上と推測されるなど、疾病対策は我が国において急務の課題となっています。脳卒中は加齢により誰にでも起こり得るものです。そのため、その兆候と発症リスクを知ることは、日常的な脳卒中对策において重要な意味をもちます。他人事でない脳卒中について、予防から、気になる予兆、そして血栓溶解療法（t-PA治療）に代表される治療最前線に至るまで分かり易く解説します。

慶應義塾大学医学部神経内科教授

講師紹介

鈴木則宏（すずきのりひろ）先生

<プロフィール>

1977年 慶應義塾大学医学部 卒業
1981年 慶應義塾大学医学部内科学助手
1986年 スウェーデン・ルンド大学医学部 医学細胞研究学教室に国外留学
1989年 スウェーデン・ルンド大学大学院医学研究科
((神経科学)修了・医学博士(PhD))
慶應義塾大学医学部内科学助手に復職
1997年 水戸赤十字病院副院長
2002年 北里大学医学部内科学助教授
2003年 北里大学医学部診療教授（内科学）
2004年 慶應義塾大学医学部教授－内科学（神経）に就任
2009年 慶應義塾医師会会長（兼務）



現在に至る

<専門医>

日本内科学会認定総合内科専門医、日本神経学会認定神経内科専門医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本認知症学会認定認知症専門医

<所属学会>

日本脳卒中学会理事、日本頭痛学会代表理事、日本内科学会評議員、日本神経学会理事、日本脳循環代謝学会理事、日本微小循環学会理事、日本自律神経学会評議員、日本神経治療学会評議員、日本認知症学会代議員、日本疼痛学会評議員



BRB MEDICAL SALON
to keep your health

セミナー概要

- <予約制> 【テーマ】 よくわかる、脳卒中
～予防と気になる症状、そして治療最前線～
- 【講師】 慶應義塾大学医学部神経内科教授
鈴木 則宏（すずきのりひろ）先生
- 【日時】 2017年10月31日(火) 18時30分 開演
- 【会場】 東京国際フォーラム ホールD5
- 【費用】 無料ご招待

会場のご案内

～東京国際フォーラム ホールD5～

住所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

交通：JR線 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分

日比谷線、銀座線、丸の内線：銀座駅より徒歩5分



お申込み・お問合せはBRBメディカルサロン事務局で承ります

TEL. 03-3343-4511 FAX. 03-3343-5845
(受付：月～金曜日9:30～17:30)

 BRB MEDICAL SALON
to keep your health